普段から防災の備えを

新城氏が八重山署で講話

八重山警察署（与那嶺一文署長）は28日午前、署内で「災害は必ずやってくる～応災力に強くなろう～」をテーマに防災講話を実施した。署員ほか、行政の防災担当職員、海に近い小学校の職員ら約30人が参加し、地域の防災について考えた。

講師のNPO法人日本防災士会沖縄県支部の新城格（いたる）支部長が、震災時の映像や過去の事例、データを用いてさまざまな災害リスクを説明し、「災害は忘れた頃にやってくる。普段から防災マップをチェックしたり、地域でコミュニケーションを重ねたりして、自助共助の備えをする事が大事」と話した。

同講話は一昨年から行われており、ことしで3回目。

新城格支部長（左奥）の講話を聞く参加者ら＝28日午前、同署内